

平成26年4月の「思いやり通信」

気温2.5～3.5度上昇 — 日本の年平均、今世紀末に



中央環境審議会が中間報告書の素案をまとめました。

日本の年平均気温が過去100年間で1.15度の割合で上昇し、今世紀末にはさらに2.5～3.5度上昇すると指摘しています。

(2014年3月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

太陽光、税込36円台 — 来年度買い取り価格 2年連続下げ



経済産業省は、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に基づく太陽光（出力10キロワット以上）の価格を、2014年度は1キロワット時あたり36円台（税込）に下げる方向で最終調整に入りました。今年度は37.8円でした。価格引き下げは2年連続となります。

(2014年3月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

再生エネ 普及に壁 太陽光優遇が誤算

洋上風力 漁業と共存必要



経済産業省は、再生可能エネルギーの買い取り価格を固めました。太陽光パネルで発電した電気の価格を2年連続で引き下げる一方、風力発電の価格を引き上げます。風力を再生エネの新たな柱に育てる狙いです。ただ、規制やコスト面など普及への壁はなお高くなっています。

2014年度

太陽光（家庭向け）：37円（1キロワット時あたり、税込）

太陽光（企業向け）：32円（1キロワット時あたり、税別）

洋上風力：36円（1キロワット時あたり、税別）

(2014年3月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 2

2024年度までに全世帯導入 — 次世代電力計

家庭、節電しやすく 大手電力10社、計面前倒し



東京電力など大手電力10社は、次世代電力計（スマートメーター）を2024年度までに全世帯に配布する方針を固めました。対象は約8000世帯。

電機の使用状況を30分ごとに把握できるスマートメーターを使うと、家庭は節電しやすくなります。各社は設置完了の計画を最大で8年前倒しして、電力小売り自由化後の競争に備えます。

(2014年3月15日 日本経済新聞記事から抜粋)

